



神奈川県

KANAGAWA

8
JPN
8

かながわグランドデザイン | 評価報告書 2016 (概要版)

2016

Kanagawa Grand Design Evaluation Report 2016 / Digest Version

かながわグランドデザイン 評価報告書 2016

県では、総合計画「かながわグランドデザイン 第2期実施計画」を着実に推進し、進行管理を行っていくため、総合計画審議会による政策評価を行っています。このリーフレットは2016年度の政策評価の結果を整理した「かながわグランドデザイン 評価報告書2016」の概要版です。「かながわグランドデザイン 第2期実施計画 プロジェクト編」に掲げた各プロジェクトの評価

や主な取組みと成果を掲載しています。県の施策の全体や評価の詳細については「かながわグランドデザイン」及び「かながわグランドデザイン 評価報告書2016」のホームページをご覧ください(裏表紙参照)。また、県政情報センター、各地域県政情報コーナーにおいて冊子としても閲覧できます。皆様からのご意見・ご提案をお待ちしております。



「かながわグランドデザイン」とは

県では、県政運営の総合的・基本的指針を示す総合計画として、2012年に「かながわグランドデザイン 基本構想」(以下、「基本構想」という。)及び「かながわグランドデザイン 実施計画」(以下、「実施計画」という。)を策定し、確実に到来する超高齢社会への備えや、2011年3月に発生した東日本大震災の教訓を生かした防災対策の強化など様々な課題への対応を着実に進めてきました。2014年度に「実施計画」の最終年度を迎えたことから、総合的な点検を行った結果、引き続き現行の「基本構想」の方向性に沿って取組みを進めることとし、2015年7月に「第2期実施計画」を策定しました。



基本構想



実施計画
プロジェクト編



実施計画
主要施策・計画推進編

プロジェクト

実施計画に掲げられているプロジェクトは、重点施策を分野横断的にとりまとめたものです。政策のまとまりごとに5つの柱を立て、23のプロジェクトが位置づけられています。

柱Ⅰ	健康長寿	プロジェクト 1~4
柱Ⅱ	経済のエンジン	プロジェクト 5~10
柱Ⅲ	安全・安心	プロジェクト 11~12
柱Ⅳ	ひとのチカラ	プロジェクト 13~17
柱Ⅴ	まちづくり	プロジェクト 18~23

「未病改善」の表現について、第2期実施計画の記載をそのまま引用している箇所は、一部「未病を治す」と記載しています。

総合計画審議会の評価(要旨)

2016年度は、一部のプロジェクトにさらなる取組みの推進が求められるものの計画2年目の全体としては概ね順調に進捗していると評価します。今後の取組みにあたり留意すべき課題を該当するプロジェクトごとに指摘しました。こうした課題への対応にあたっては、多様な主体との連携や事業実施上の工夫をさらに進めていただくことはもちろん、市町村と県との役割分担を明確化し、各地域の特性を生かし、効果的に取り組んでいただくことを期待します。

▶ 評価別プロジェクト数の一覧

2016年度の政策評価の結果の概要は表のとおりです。

プロジェクト全体の評価(二次評価)		プロジェクトの数
順調	🦅🦅🦅🦅	4
概ね順調	🦅🦅🦅	17
やや遅れている	🦅🦅	2
遅れている	🦅	0

プロジェクトの評価

柱Ⅰ	健康長寿	主な取組みと成果	評価	
	1 未病	未病を治す取組みを支える社会環境の整備 未病を治すために重要な、食、運動、社会参加など生活習慣改善の支援 健康情報の活用による効果的な施策の推進	「未病センター」の認証や未病改善の普及を行う「未病サポーター」研修を実施、未病改善に役立つ情報を提供する「かながわ健康長寿ナビサイト」を開設 未病女子いやしのセミナーを開催、かながわ女性の健康・未病Week(3月1日～8日)の設定及び関連イベント等の実施 マイME-BYOカルテの普及拡大、CHO(健康管理最高責任者)構想の普及・拡大に向けたセミナーなどの実施	 やや遅れている
	2 医療	最先端医療の推進 県民への適切な医療提供体制の整備・充実 医療人材の育成・確保	「ライフイノベーションセンター」の入居事業者を中心に「かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク」を発足 県立精神医療センターによる県民向け研修や公開講座の実施、県内の交番等へAEDを設置し、プレ・ホスピタル(病院前救護)機能を強化 地域医療支援センターにおいて県内医療機関へ配置する地域卒医師を検討、離職看護職員の潜在化防止のため、ハローワークと連携	 概ね順調
	3 高齢者福祉	地域包括ケアシステムの構築 認知症の人や家族などに対する総合的な支援 健康・生きがいづくり	地域包括支援センター職員等養成研修の実施、介護ロボット普及推進センターでの見学会の実施 かながわ認知症コールセンターによる電話相談、認知症サポーターの養成 コグニサイズなど認知症の未病対策をテーマとした教室の開催、「シニア・ジョブスタイル・かながわ」におけるキャリアカウンセリングの実施	 概ね順調
4 障がい者福祉	福祉サービスの充実・社会環境の整備 社会参加や就労の支援 障がい者に対する理解促進と権利擁護	介護職員などによる、たんの吸引などの実施のための研修の実施、障がい者などにやさしい地域づくりを進めるための普及啓発 障害者スポーツサポーターの養成、県内8か所の障害者就業・生活支援センターにおける就労相談の実施 「ともに生きる社会かながわ憲章」の策定、ヘルプマークの配布	 概ね順調	
柱Ⅱ	経済のエンジン	主な取組みと成果	評価	
	5 エネルギー	再生可能エネルギー等の導入加速化 安定した分散型電源の導入拡大 省エネルギーの促進とスマートコミュニティの形成	県内の中小企業者などが行う地域経済の活性化に資する再生可能エネルギー発電事業への支援 ガスコージェネレーションなどで生産する電気や熱を建物間等で融通する取組みへの支援、燃料電池自動車導入費用に対する支援 環境学習映像教材による普及啓発を実施、ZEHを実現する事業に対する支援	 概ね順調



6
産業創出

成長産業の創出・育成
企業誘致などによる産業集積の促進
技術の高度化・科学技術研究の推進

「ME-BYO Japan 2016」などの展示会を開催、生活支援ロボットの商品化支援の実施
「セレクト神奈川100」の取組みによる、県内の再投資も含めた特区地域などへの企業誘致
地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所の設立準備作業を実施し、2017年4月1日に設立


概ね順調

7
海外展開

企業の海外展開支援と外国企業の誘致
海外とのネットワークの構築・推進

米国やメキシコで知事トップセールスを実施、ライフサイエンス産業に関連し海外の先進機関と覚書を締結、共同シンポジウムを開催
マレーシア・ペナン州との共同声明25周年記念事業の実施、米国・メリーランド州との友好提携35周年記念事業の実施


概ね順調



8
観光

外国人観光客の誘客促進
国内観光客の誘客促進
新しい観光魅力づくり

外国語観光情報ウェブサイトを開発、県内の観光協会に対する公衆無線LANの整備補助など快適な旅ができる環境づくりの実施
観光客誘致を図るための県外でのPRイベントの実施、県外の百貨店などにおいて「かながわ名産展」を開催
「新たな観光の核づくり」地域における先導的の事業を実施、「神奈川県観光魅力創造協議会」を設置


概ね順調



9
マグカル

マグカルの全県展開
マグカルを担う人づくり
地域における文化芸術活動に対する支援

「神奈川県オリバラ文化プログラム推進協議会」を設置、「カナガワ リ・古典 2016in 小田原」などの事業を実施
マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミーの開講やマグカル劇場などの実施
伝統芸能に関するワークショップの開催や歌舞伎教室などの鑑賞・体験機会の提供、アウトリーチ事業などによる音楽鑑賞機会の提供


概ね順調

10
農林水産

県民ニーズに応じた農林水産物の生産支援と利用促進
新たな担い手の育成・確保の推進

取引要望に対応できる生産者確保のためのコーディネート、県産畜産物知名度向上イベントの実施、消費者ニーズに応じた水産加工品の開発、県産木材加工・流通施設の整備
かながわ農業アカデミーでの相談や漁業体験、林業希望者研修などの実施及び就農後の定着に向けた相談・指導


概ね順調

柱Ⅲ

安全・安心

主な取組みと成果


評価



11
減災

自助・共助の取組み促進
災害対応力の強化
災害に強いまちづくり

県民の消防への理解と関心を高めるとともに、消防団への加入促進を図るため「かながわ消防フェア2016」を実施
「ビッグレスキューかながわ」や神奈川県内消防広域応援・緊急消防援助隊県内合同訓練の実施
大規模災害からの早期復旧・復興に資する地籍調査の促進、県有施設の耐震化の推進、橋りょうの耐震補強の実施


順調



12

治安

犯罪などの起きにくい地域社会づくり

防犯活動団体向け研修の開催、地域の安全・安心まちづくり活動を行う市町村や自主防犯活動団体への補助金の交付

県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙活動の強化及び交通事故の防止

県民に不安を与える犯罪の情報をデータ化し、分析するシステムの高度化を推進、交通事故発生実態を踏まえた交通事故防止対策

犯罪被害者等への支援

犯罪被害者等の立場に立った支援の提供、「いのちの大切さを学ぶ教室」の開催と受講者を対象とした作文コンクールの開催・表彰



順調

柱Ⅳ

ひとのチカラ

主な取組みと成果

評価



13

男女
共同参画

誰もが個性と能力を発揮できる社会づくり

「かながわ女性の活躍応援団」に新たに10人の男性トップが参加、「神奈川なでしこブランド」の認定やライフキャリア教育の実施

仕事と子育てや介護を両立できる環境づくり

ワーク・ライフ・バランス促進のため企業へアドバイザーを派遣、両立に悩む女性にカウンセリングやセミナーを実施

配偶者などからの暴力防止と被害者への支援

県民向け相談窓口の周知や中学生・高校生向けのデートDV予防啓発冊子の作成、被害者への相談、一時保護、自立支援などを実施



概ね順調

14

子ども・
青少年

子ども・子育て支援と結婚から育児までの切れ目ない支援

保育所等定員の増加、保育士修学資金貸付等事業の創設、かながわパパ応援ウェブサイト(かながわ版父子手帳)を開設

支援を必要とする子どもを守る体制づくり

児童虐待事案に係る連携協定を県児童相談所と県警との間で締結、スクールカウンセラーなどの配置、里親制度の広報などを実施

青少年の健全育成と自立の支援

スマートフォンの適正利用の推進、地域若者サポートステーションにおける相談



概ね順調

15

教育

一人ひとりの生きる力を高める学校教育の推進

確かな学力育成推進校、グローバル教育研究推進校、国際バカロレア認定推進校、インクルーシブ教育実践推進校(パイロット校)を指定

児童・生徒などが学ぶ教育環境づくり

経験年数に応じた教員研修を実施、県立高校改革実施計画に基づき学科改編等を実施、県立学校の校舎などの耐震化工事などを実施、災害時用携帯トイレを整備



概ね順調

16

スポーツ

生涯を通じたスポーツ活動の推進

運動・スポーツを行うきっかけづくりとする3033運動キャンペーンイベントの開催、レクリエーション指導者の派遣

スポーツ活動を拓げる環境づくりの推進

総合型地域スポーツクラブなどの運営に必要な研修の実施、体育センターの再整備に着手

オリンピック・パラリンピックなどを盛り上げていく取組み

「セーリング陸上体験会inクイーンズパーク」の開催、「かながわパラスポーツフェスタ2016」の開催



順調

17

雇用

産業を支える人材の育成

職業技術校などにおける職業訓練の実施、神奈川科学技術アカデミーにおいて教育講座を実施

就業支援の充実

かながわ若者就職支援センター、障害者就労相談センターにおいて就業相談などを実施

外国人人材の育成・活用

国家戦略特区における規制改革を活用した家事支援外国人受入事業に関し、全国で初めて受入企業(特定機関)を認定



概ね順調



柱Ⅴ	まちづくり		主な取組みと成果	評価
	18 地域活性化	県西地域活性化プロジェクトの推進	「未病いやしの里センター(仮称)*」に関する協定を民間事業者と締結、外国人をターゲットとした「未病を改善する」モデルツアーの実施 <small>※平成29年5月26日に「未病いやしの里センター(仮称)」の名称が「未病バレー「BIOTOPIA(ビオトピア)」に決定</small>	
		三浦半島の資源を生かした地域の活性化	「三浦半島まるごと食堂」で「食」の魅力をPR、史上最大級のヨットフェスティバル「ENJOY 海 KANAGAWA」を開催	
		地域のマグネットとなる魅力づくり	地域の魅力を生かした県内への移住・定住を促進する動画や冊子の作成、商店街の活性化を目指し地域商業ブランド確立に向けた取組みを推進	概ね順調
	19 多文化共生	外国籍県民がくらしやすい環境づくり	医療通訳派遣や外国籍県民向け日本語講座の実施、多言語支援センターかながわの開設	
		留学生支援の充実	留学生支援拠点「かなファンステーション」での日本語学習支援、留学生を対象とした会社説明会の実施	
		多文化理解のさらなる推進	多文化共生イベント「あーすフェスタかながわ2016」の開催、教員のコミュニケーション能力向上のための専門研修の実施	順調
	20 協働連携	NPOの自立的活動に向けた支援	県指定NPO法人や認定NPO法人に関する制度説明会の実施や広報冊子の作成、NPOの中核となる人材の育成講座の開催	
		NPOなど多様な主体による協働の推進	中間支援組織(NPOを支援するNPOなど)との協働運営によるパートナーシップミーティングの開催	
		県と企業、大学などとの連携の推進	学長・知事懇談会の開催や大学発・政策提案制度の実施、県内市町村と連携し、約7,800か所の公園データを公開するなどオープンデータの推進	概ね順調
	21 自然	森林の保全・再生	水源の森林エリア内の私有林の公的管理・支援や丹沢大山での植生保護柵の設置など土壌流出防止対策の実施	
		里地里山の保全・活用	里地里山の保全活動への支援や普及啓発の実施	
		都市のみどりの保全・活用	小網代の森での利便性向上のための常設トイレ設置準備、県立都市公園の開設	やや遅れている
		人と動物との共生	鳥獣被害対策に関する人材育成の実施、ペットの終生飼養に関する普及啓発	
	22 環境	環境に配慮する活動への参画推進	環境学習映像教材による普及啓発の実施、薄膜太陽電池の設置に対する支援	
		資源循環・適正処理の推進	かながわの建設リサイクルを推進するための高等学校への出前授業の実施、レジ袋削減などキャンペーンの実施、PCB廃棄物の処理の推進	
		大気環境保全の推進	ガソリンペーパー対策に係る啓発活動や旧式ディーゼル車の運行規制の徹底、PM2.5測定局の常時監視測定データの公表	概ね順調
	23 都市基盤	交流と連携を支える道路網の整備と活用	自動車専用道路やインターチェンジ接続道路などの幹線道路の整備、道路を永く、有効に活用する取組みの推進	
		交流と連携を支える鉄道網の整備	リニア中央新幹線の建設促進、東海道新幹線新駅の設置・JR相模線複線化・神奈川東部方面線整備などの促進	
		国際競争力の強化に向けた空港施策の充実	羽田空港の機能強化の促進、羽田空港の国際化を生かしたまちづくりの推進、空港周辺のアクセスの整備促進	
		持続可能な魅力あるまちづくりの推進	都市機能の集約化や地域の新たな拠点づくりの推進、地域の特色を生かしたまちづくりや空き家対策の推進	概ね順調

「神奈川の戦略」の取組状況

ヘルスケア・ニューフロンティアの推進

- 未病産業の市場の着実な拡大
- ライフイノベーションセンターの供用開始、かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク(RINK)の発足
- 海外の先進的な地域や機関との協力関係の強化、WHO本部へ県職員を派遣
- メディカル・イノベーションスクールの設置準備



ロボットと共生する社会の実現

- 共同開発のコーディネート、早期の商品化が期待できる案件の重点的な支援
- 実証会場やモニターの紹介、プレ実証フィールドの運営
- ロボットを実際に体験できる機会の創出、現場におけるロボットの導入促進
- ロボットと共生する社会について外部専門家による検討結果の取りまとめ
- 「セレクト神奈川100」による企業立地支援事業を2件認定



「グローバル戦略」の推進

- 県内中小企業の海外展開支援を図るため、海外進出セミナーなどを6回開催
- 外国企業の誘致を図るため、外国企業立上げ支援補助金の活用などにより8社を誘致
- ライフサイエンス分野での協力などに関する海外機関との覚書(MOU)を5か国7件締結
- 開発途上地域などから政策研修員及び海外技術研修員を受け入れ、国際的なネットワークを形成、拡大
- 「多言語支援センターかながわ」を立ち上げ、保健医療、子育て、災害に関する問い合わせに多言語で対応



地方創生の推進

- 2016年3月に「神奈川県人口ビジョン」及び「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、2017年3月に総合戦略を一部改訂
- 県への移住を促進するため、神奈川の魅力を紹介した映像などを作成しプロモーションを実施
- 「かながわシープロジェクト」、「県西地域活性化プロジェクト」、「三浦半島魅力最大化プロジェクト」などの地域資源を活用した魅力づくりや、「宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化」に向けた新たな観光地域づくりを推進



オリンピック・パラリンピック

- 大会の機運醸成などの取組みを推進する「ラグビー・オリパラ神奈川応援団」を設立
- 「ラグビーワールドカップ2019™及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会推進かながわアクションプログラム」を作成
- セーリングの陸上体験会や小・中学生などを対象とした海上体験会を開催
- 事前キャンプに関してリトアニア共和国と本協定を、ブータン王国と仮協定を締結(2017年4月本協定締結)
- セーリング競技開催準備のため、「神奈川県会場プラン(調整素案)」を作成
- 「かながわパラスポーツ」普及のため、「かながわパラスポーツフェスタ2016」を開催



超高齢社会や人口減少社会への対応など非常に大きな課題を乗り越えるために、重点施策を分野横断的にとりまとめたプロジェクトを、さらに複合的に実施する取組みとしてまとめた「神奈川の戦略」の取組状況です。

